

市独自の新型コロナウイルス感染症 への取り組み

多くのメディアが注目



全国放送 4月25日

「寝屋川モデル」がフジテレビ「Mr.サンデー」に

全国放送

授業のライブ配信

報道STATION で取り上げられました

コロナ禍でも子どもの教育の機会を守るために、市独自で導入した「授業のライブ配信」が、4月15日にテレビ朝日「報道ステーション」に取り上げられました。



▲取材を受ける広瀬市長

人 気アナウンサーが司会を務める「Mr.サンデー」で、新型コロナワクチンの接種状況などを分かりやすく示した「寝屋川モデル」が取り上げられました。

放送では、市がワクチン接種の優先順位を6段階で「見える化」した点に注目。市民の混乱を防ぐためにワクチン接種の優先順位を細かく設定していることなどが紹介されました。



▲放送イメージ

注目 クラスター発生防止で、高齢者の命を守る



▲放送イメージ

高齢者施設などへ訪問指導

高齢者施設などでのクラスターの発生が連日報道される中、市では重症化しやすい高齢者や障害者の施設において、クラスターの発生を防ぎ、改めて施設の感染対策の状況の確認、注意喚起を行うため、市職員による施設の訪問指導を実施しました。

- 4/19 1 NHK「関西のニュース」
- 4/20 産経新聞
- 4/21 7 テレビ大阪「やさしいニュース」



全国放送 5月7日

「子どもの命を守る」TBSテレビ「NEWS23」に

学 校や保育所など、身近な場所でのクラスターが全国で急増している中、放送では「大人が感染しないようにするしかない」としたうえで、人気キャスターから「寝屋川市のように、保育士などにワクチン接種を優先させている自治体もある」と、先進事例として紹介されました。



「自分はいつ？」市民の不安・混乱を解消する寝屋川モデル 市独自の順位付け ゲージグラフで「見える化」

「施設を守る」観点から、クラスター発生率の高い高齢者施設などを優先します。また、「子どもの命を守る」観点から、子どもと接する機会の多い人を優先します。

国からのワクチンの供給量と接種順位を市ホームページなどで公開。予想できないワクチンの供給量に柔軟に対応するとともに、接種時期の見える化を図ることで、不安・混乱の解消を図ります。

ゲージグラフの最新状況など、新型コロナワクチンについての情報は6ページをご覧ください

取り上げられました

